

ベトナム・チョーライ病院と筑波大学附属病院との第9回テレカンファレンス

国際医療センター

平成28年5月31日に筑波大学附属病院とベトナム・ホーチミン市のチョーライ病院との間で九州大学医学部の支援の下、第9回テレカンファレンスが実施されました。今回のテーマは“胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術”で双方の病院からビデオクリップを使用した主に技術的な内容が発表されました。

筑波大学附属病院からは消化器外科を主に約15名が参加し、講師の明石義正先生が発表を行いました。チョーライ病院からは約20名の参加があり、消化管外科の医師を中心に同科に研修に来ていたドイツからの医学生3名に加え、国際展開推進事業の計画のために出張中であった秋山国際医療センター部長はチョーライ病院から参加しました。発表はチョーライ病院消化管外科のLam Viet Trung 医長が行い、主に動画を使用した技術的な発表でした。双方の動画イメージは非常に鮮明で、細かいところまで視覚的に理解することができました。したがって発表後の協議も技術的な事柄を中心に活発に行われました。

今回のテレカンファレンスにより画像を使用した発表に十分に対応できる技術であることが再確認されました。



筑波大学附属病院からの参加者



発表する明石講師



チョーライ病院から協議する Trung 医長



モニターに映し出された三地点の様子